

誰も自殺に追い込まれることのない

吉川市を目指して



市では、平成31年に「吉川市自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない吉川市を目指して」を基本理念として自殺対策に取り組んできました。

また、本計画は令和5年度で計画期間の満了を迎えます。そこで、令和4年10月に実施した「吉川市こころとくらしのアンケート」を基に、市の実態を把握しつつ、また、社会経済情勢の変化や、国の動向を踏まえ、吉川市総合振興計画をはじめとするさまざまな関連計画との整合性を図りながら次期計画を策定し、市に合った自殺対策を推進していきま

す。
「自殺対策強化月間」の今月を機会として、市の現状と取り組み、各相談窓口についてご紹介します！

3月は「自殺対策強化月間」です

「自殺」。テレビや新聞、SNSではよく耳にする言葉だと思います。特に新型コロナウイルス感染症がまん延しているこの数年間はよく聞いた言葉でしょう。しかし、どこか身近ではない、他人事のようなものを感じている方も多いのではないのでしょうか。

3月は生活環境が大きく変動する時期であり、自殺者数が全国的に増加する傾向にあります。自殺対策基本法では、3月を「自殺対策強化月間」と定め、全国で集中的に自殺予防に関する啓発活動を推進しています。

平成18年に「自殺対策基本法」が施行されて以降、自殺対策が総合的に推進され、全国での自殺者数は3万人台から2万人台へと減少しました。しかしながら、日本は自殺死

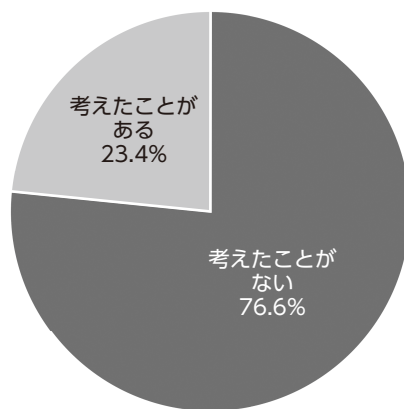
亡率（人口10万人当たりの自殺者数の割合）が先進諸国の中で高水準となっており、非常事態と言える状況が続いています。特に、厚生労働省が発行した「令和3年版自殺対策白書」によると、10代から20代の若い世代の死因の第1位が「自殺」となっているのは、先進国（G7）では日本のみとなっています。

一人で悩みを抱えていませんか
自殺は、精神保健上の問題だけでなく、さまざまな悩みが複雑に絡み合っていると言われています。国や県では電話相談窓口をはじめ、SNSで相談ができるなど、さまざまな相談窓口を開設しています。

吉川市の現状と取り組み

令和3年、市では9人の方が、自ら命を絶っています。

また、令和4年10月に当市在住の18歳以上の市民1500人を対象に実施した「吉川市こころとくらしのアンケート」では、自殺を考えたことがあると回答した方が、約4人に1人となっています。



自殺をしたいと考えたことがあるか
(令和4年度吉川市こころとくらしのアンケート調査)

市では、相談窓口として「こころとくらしの安心相談」を開設しています。5ページに主な相談窓口を記載しています。話をすると気持ちが楽になることもありますので、一人で抱え込まず、まずは相談してみませんか。あなたのお話を聞かせてください。